



知念 富信 議員

町道5号線と周辺地域計画を問う

答 地権者の理解を得て、駐車場と運動施設を計画する

問 町道5号線事業は宮平ハイツ側の地権者および住民から道路改良事業の説明会もなく承諾できないとのことである。どう対応するか。

副町長 まず、最初に宮平ハイツ側地権者および住民にお詫びを申し上げます。地権者の理解を得られるように、5号線の改良事業と黄金森公園計画等の説明を行い、取り組んで行く。

都市整備課長 T字交差点の宮平ハイツ側にガードレールや安全柵等を検討する。

問 黄金森公園側の土地利用計画はどうなっているか。

副町長 文化センター付近の公園区域が県道拡幅事業で潰れ減少(2千5百㎡)するので公園区域として取り入れる計画である。

問 屋内運動場を造る計画はないか。

副町長 公園区域の面積は1万1千㎡である。駐車場と運動施設の建設を検討している。



▲町道5号線道路改良事業計画図

南風原バイパスを問う

問 南風原バイパスの大名、与那覇地域の側道沿いを用途変更できないか。

まちづくり振興課長 道路周辺はイオン南風原店も含めて市街化調整区域になっている。市街化区域への編入と同時に、大名地域の低層住宅専用地域等の用途見直しも含め検討する。

問 南高架橋の下を有効利用する計画はないか。

経済建設部長 地域からの要望、意見を聞いて検討する。

問 高速道路北インターチェンジからイオン南風原店向けの下り側道の拡幅計画はないか。

副町長 幹線道路整備を南風原北インターチェンジ周辺道路の改良を含めて要望している。

問 南風原バイパスの供用開始は何年度か。

副町長 南風原町宮平から新川間の側道は平成30年度の暫定開通に向け取り組んでいる。本線は早期開通に向けて取り組んでいるとのことであるが開通時期は未定と聞いている。

県道241号線周辺の整備を問う

問 側道(宮平585番地4)は県道への進入路が狭い。改良できないか。

まちづくり振興課長 県も現場を把握しており、間口を広げる方向で検討している。